







牧師のコラム

『青春時代の思い出深い曲』

送作家、作詞家と多才な人でした。そのよソナリティであり、タレント、随筆家、放まれの江戸っ子でした。ラジオ番組のパーまれの江戸っ子でした。ラジオ番組のパーをと言えば、皆さんご存知の方になった。



おられ、私も車の運転中にラジオを通してした。最後の最後までラジオ番組を持ってながら二〇一六年に八十三歳で亡くなれまうに才能に恵まれた人でしたが、惜しまれ

きたい」というものがあります。 ではベテランの味が十分に詰まった素晴らしいものでした。永六輔さんはパーソナらしいものでした。永六輔さんはパーソナらしいものでした。永六輔さんはパーソナム、作詞家としても素晴らしい作品を多くく、作詞家としても素晴らしい作品を多くなってきているのを感じましたが、話の聞いていました。さすがに晩年は活舌が悪

遠い街 どこか遠くへ 行きたい どこか遠くへ いきたい 夢はるか どこか遠くへ 知らない海を どこか遠くへ 知らない街を 愛する人と 愛する人と めぐり逢いたい いつの日か 愛し合い 信じあい 「遠くへ行きたい」 遠い海 一人旅 幸せを めぐり逢いたい ながめてみたい 行きたい 行きたい 歩いてみたい

https://www.uta-

net.com/movie/199853/

この詩は中村八大さんの作曲のメロディに乗って、私達の心の中の奥深くに眠っている旅情願望が引き起こされます。それだけではなく、様々な心の基線に共鳴を与え、口ずさませる力があると思います。この歌を聞きたいために、日曜日の朝に、旅番組としては最長で、四十九年も続いていると言うことです。この心の掻き立てられる歌があったからこそ、四十九年間も続いる歌があったからこそ、四十九年間も続いると言うことです。この心の作曲のメロディ

トリーム」や、「夜のバラード」が思い出曲は、「夜明けのスキャット」が、由い出します。メロディでは「ジェットスが、昔は歌詞がなかったということです。が、昔は歌詞がなかったということです。が、昔は歌詞がなかったということです。おい出します。メロディでは「ジェット」が、由歌詞付きの「夜明けのスキャット」です。今は出します。メロディでは「ジェット」では、白い出します。メロディでは「ジェット」が思い出します。メロディでは「ジェット」が思い出します。

と、昔の青年の心とが強く繋がっていたよされます。このようなセンチメンタルな曲



うに思います。

青年時代特有のささくれだった心を優しく鎮めるように、深夜のラジオ番組にはこのような曲が流れていました。私は今もこれらのある曲はアップルストアーから購入して、パソコンに入っており、時々一人でして、パソコンに入っており、時々一人でれらのある曲はアップルストアーから購入れて汚れていくのではという恐怖と、精神れて汚れていくのではという恐怖と、精神れて汚れていくのではという恐怖と、精神の渇きを覚えるその心に、これらの曲のメ

ってくれないものですかね。
はこかの局で、その様な専門番組を作が、どこかの局で、そのようなコンセプトが、とのような柔らかさに、心を撫でられるよいのにと思います。今のラが、といかの局で、その様な専門番組を作が、といかの局で、その様な専門番組を作ってくれないものです。その時代の多口ディが流れて来たのです。その時代の多口ディが流れて来たのです。その時代の多口ディが流れて来たのです。

■聖霊待望会

テ礼拝がもたれました。
2019年6月9日(日)、ペンテコス

礼拝後の聖霊待望会では仁井田牧師が できました。ハレルヤ!

れる人生をお祈りします!(山下)澤姉が聖霊様と共にますます豊かに歩ま





■南地区 壮年集会

ルも、 たとの事です。 がら、次に1階の会堂部分を改築してい と、まず2階をリホームして礼拝を守りな なっていました。 りリホームされていて、会堂も2階 の女性も加わって、7名で出席してきまし 先生を応援すべく、 年集会は、 コニーも広く、大変解放感に満ちた造りに 大船教会にて行われ 久しぶりに訪れた大船教会は、 明るく広々として、 仁井田先生が講師でしたの 大船の菊山先生に聞 壮年部5名そして2名 た、 また南側のバ 今年の南 すっか ゟ 地 区壮 ホ . つ ル

年齢 念に警笛を鳴らされました。「その考えに と体力も気力も下がっていくというのが 生労働省の資料によれば、 年」〜聖霊によって新しい夢を見る〜。 明ですね。今回のテーマは「これからの 事。先生がいかに用いられているか、 もなく、すぐに仁井田先生に決まったとの 師を決めるのは大変なのに、今回は祈る間 年部長の久保田先生によると、 さて、今回の講師が決まった経緯は、 な考え方か?仁井田先生はまずその通 は30才から44才の働き盛りの男性 世の中的には、その年代を過ぎる 壮年の定義は、 V つも 0) ば 厚 壮 証 講 壮

> る。 Ļ なっていきました。 皆、おおいに聖霊に満たされ、 に、あきらめ感が漂いがちになる現況に、 う、どれだけ困難な時代だったか!?しか くされ、更には敵国に攻め込まれるとい る。」と預言したヨエルの時代は飢饉にさ 会衆をポジティブ・シンキングへと導 まるで、 きたれり」を賛美して祈る、に至っては、 希望の光をもたらしていきました。 ッセージは力強く、ややもすれば、 いなまれ、イナゴの大群にすべてを食べ尽 ました。「青年は幻を見、老人は夢を見 流されてはダメ!」から始まり、 聖霊によれば、 私達は、 聖霊待望会かと思わせる雰囲気に . 神の国に生きている!とのメ 希望が持て、夢を語れ 聖歌 次々と、 会衆も 老齢化 かれ 聖霊

溝 真逆に、 うまでもありません。 かけられてるんだな・・・」との言葉に、 先生と目が合いました。きっと、 は「みことば」。そして、「今日は、 証しタイム。西山さんが引いたキー 長していく事を目標に、 て、そこに書かれたキーワードをもとにお \mathcal{O} 集会のあとは、 口の壮年部一同に緊張が走ったのは言 老いてもますます力強く、 各代表者が キリストに似せて成 世の中の カードを引い 通念とは 教会の ハッパを -ワード 何度も

でいこう!と決意を新たにさせられた、一丸となって、真っすぐに神様の道を進ん成長を担うべく自覚を持って、壮年部一同

素

晴らしい集会となり感謝です。

田

■壮年愛餐会

す。
したい。」とのお話から実現したものでの際に澤田兄から「皆さんにおそばを提供の際に澤田兄から「皆さんにおそばを提供をが行われました。年頭の壮年部計画立案

二人で手際よくそばをゆで、 あり、 ち蕎麦の出来上がり。 なりました。 付けてくださいます。次々と冷やし狸手打 の方が二階に集われにぎやかな愛餐の時と と、子どもたちから青年婦人の方も、 当日は い」との 壮年に限らずどうぞ!」とのお誘いも 仁井田先生、壮年はもちろんのこ 澤田兄から「多く用 声 調理台の前では、 各テーブルで「おい 彩りよく盛り 意できたの 奥さんとお 多く

ためてありがとうございました。 西山こと、澤田ご夫妻おいしく楽しい時をあらになりました。前日から準備下さったとの30人の方々がお腹を満たされごちそう

東日本大震災 被災地支援に寄せて■2011.3.11.

地方で入院していました。 私は、東日本大震災を知りません。北陸

家も車も人も飲み込んでいく津波の映像私たち患者は、崩壊していく街や、船も

て済みました。それ



宅地開発が進む名取市閖上(ゆりあげ)

るまでに時間がかかりました。起きている災害の生中継である」と認識すが、ドラマではなく、「今現在、東日本で

Vを消せば身震いするような映像も見なくでき、計画停電もなく、余震もなく、毛布病院食が3食提供され、薬も飲み、点滴も病に食が3食提供され、薬も飲み、点滴も窓の外は雪。暖かい部屋で、作りたての

なりました。 を崩す患者が多発し たため、デイルーム にしかないTVは、 にしかないTVは、 にしかないTVは、

宮城県名取市閖上(ゆりあげ)という海沿いの町は、大きな沿いの町は、大きな上、瓦礫もほとんどし、瓦礫もほとんどない砂浜になってしない砂浜になってしまいました。当時人口五千六百十二名のうち千二十七名(行方

た。 不明者百十九名)の尊い命が奪われまし

れど、心を合わせ、背中を押して送り出しとができました。当日は閖上に行けないけメンバー一〇名でお祝いに音楽を届けるこ栄にもお声をかけていただき、参加できる会」というイベントが行われました。光の町が八年かけて復興し「閖上まちび

の分の気持ちも一緒に。

てくれたたくさんの仲間

私たちはバンド、ソロ、流し、音楽療法などロ、流し、音楽療法などいろいろなかたちで「オンガク」にまみれている仲間です。むしろ、「人のため」以前に「自分が」音楽に満たされていないと元気でいられないと元気でいられないと元気でいられないと元気でいられないと元気でいられないと元気でいられないと元気でいられないと元気でいられないと元気でいられないと元気でいる。

ことができました。とてて、一て音楽の出番」というイーで、十五回目をついに関し、十五回目をついに関

参加) も感謝なことです。(私は退院後 vol4 から

「音楽の出番」第一回目は、震災から十



花を咲かせたひまわりの種など)の売上金していた物産品(手ぬぐい、本当に大きなってきた今でも変わりません。閖上に残存奏スタイルです。このスタイルは十四回行とし、最小限のマイクと照明を使用した演日後に行われました。生声、生楽器を主体

の機関に寄付してきました。と当日のチケット代を義援金として、閖上



した。 に復興の仕方を毎日考えていたとのこと、 に復興の仕方を毎日考えていたとのこと、 関上では生き残った人は仮設に住み、すで

てきました。 たちのスタイルで出来る精一杯のことをし 額面としては小さいけれど、関東勢は私

意識をもつこと」「思い出深い夜にするこして、「会場にいるひとりひとりが当事者すが、「音楽の出番」というイベントを通確かに義援金を募ることも目的の一つで

ません。ですからせめて「音楽の出番」

と」が主な目的です。

開催当時は、「この有事に音楽なんてやっている場合か!!」「音楽なんかで被災っている場合か!!」「音楽なんかで被災地た。その批判ももっともだと思います。 私たちも音楽が被災地を救えるなんていう ことは考えていません。ただ、「音楽が 人々を奮い立たせ、その人々が立ち上が り、被災者の力となり、救う」という図式 はありうることだと思っています。

た時だけではない、 ばわからない声でした。 あるようです。一人一人の立場で抱いた思 わだかまりがあるとの話を幾人にもお聞き たかった人」それぞれが閖上への愛が故の 閖上に残った人」「残らなかった人」「残り 被災地から離れた場所では記憶から風化し てもなお忘れてはいけないものです。 してきた人」との間にも見すごせない溝が しました。「新生閖上ニュータウンに転居 いが正解だと思います。 実際に現地に行き、「震災後も崩壊した いや、 つか歴史の教科書に載っているのを あったね」 復興するまで、 と眺 震災の事実は起き 現地に行かなけれ めるかもしれ 復興し

す。 続け、また閖上に行きたいと思っていまたくなるような楽しく興味深いイベントをし、また集いたくなるような、周りを誘いし、また集いたくなるような、周りを誘い



■洗礼式

「二十歳で洗礼を受けてみて」

改めて、一度っきりの洗礼だと思うと、 なんだか感慨深いような気がします。 幼い頃から何となく教会に行っていて、 分から調べるようになりました。今までの 人生は、学校や勉強、友達のことで一杯で 人生は、学校や勉強、友達のことで一杯で が、いまでは大分考えるようになりました。それは洗礼という特別なことをしたき っかけが関係あると思います。自分にとっ でも、水に全身を浸すような忘れられない 関激があったことで、六月二日は特別な日 になりました。

洗礼を受けるきっかけは実はこれという ものはありません。強いて言うなら、兄と 女が受けたことで自分も受けようと思うよ うになりました。これは蛇足ですが、何気 うになりますが、なんと自分の誕生日の九月 になりますが、なんと自分の誕生日の九月 になりますが、なんと自分の誕生日の九月 ですが、おそらく考えすぎなだけだと思い ですが、おそらく考えすぎなだけだと思い ます。



願いします。にお世話になると思いますので、宜しくお出い文章となりましたがこれからも教会

ますようにお祈りしています。本からも主の大きな祝福が小林兄にありたこと、喜ばしく思います。たこと、喜ばしく思います。かっという間に大きたこと、喜ばしく思います。あっという間に大きたこと、喜ばしく思います。初めて

■南地区女性大会に参加しました

中谷美佳

さいました。 久保田説子先生が御言葉を取り次いでくだ 久保田説子先生が御言葉を取り次いでくだ 家庭 地域で輝くクリスチャンを目指して 家たは「祈りによる信仰の成熟~教会

のお証しや杉田教会の活動を交えながら、とても興味深いテーマで、先生のご家庭



夫婦・家族関係 の危機の乗り越 をしての奉仕な としての奉仕な にわかりやすく にわかりやすく

成長していない未熟なクリスチャンは、 はい、サタンの策略にはまってしまい、 でしまい、サタンの策略にはまってしまい。 神様は祈りを通して修正してくださり、心神様は祈りを通して修正してくださり、心神様のはなのかを を変えてくださいます。惑わされずに、ど を変えてくださいます。惑わされずに、ど を変えてくださいます。感わされずに、ど を変えてくださいます。必 を変えてくださるのです。

箇所は、マルコ一章三十五節の御言葉で箇所は、マルコ一章三十五節の御言葉でメッセージの中で、大きく示された聖書

(口語訳)「朝はやく、夜の明けるよほど前

き、そこで祈っておられた。」に、イエスは起きて寂しいところへ出て行

祈りを通しての

(ルカ十八章一節) 常に祈ることを教えてくださっています。 でいます。そしてイエス様は失望しないでは、私たちに祈りの模範を見せてくださっぱ、私たちに祈りの模範を見せてくださっ

大保田先生は、祈ることを生活のなかで、保田先生は、祈ることを生活のなかである。

今回賜った御言葉をただ聞いてそのままた来年の女性大会も期待してぜひ参加したなりたいと思わせていただいた祝福あふれる一日でした。

いけません。」(ヤコブ一章二十二節)分を欺いて、ただ聞くだけの者であっては「みことばを実行する人になりなさい。自

|広報伝道部取材旅行 (後半①)

山

谷取材旅行に参加して』

通りからいろは商店街まで山谷地区だけで ことで、今回は三時間かけて南千住駅から た成り立ち、 兄のご友人の方々2名と共にNPO法人 南千住駅で金井兄、 とがなかった歴史的背景を中心に様々なこ はなく周辺地区も 山谷、東浅草、吉原大門がある千束、 山谷のことを一番よく知っている存在との わり始め二十七年間山谷と共にいる自分は 区の江戸時代の歴史、ドヤとして形成され えない燦燦と太陽が降り注ぐ一日だった。 「友愛会」の吐師 五月二十五日(土)この日は五月とは思 吐師さん日く十六歳から山谷地区に関 昭和の歴史を聞くことができ 一折回り、今まで聞くこ (はし) さんから山谷地 西山兄、 桜井兄、 金井



となった。 とを伝え、教えてくれ、 非常に貴重な機会

れ、 た。 展しており繁華街の様相を呈していたそう 時代の有名な飲食店もあり様々な娯楽が発 るが近くに吉原があり、 持っている少し物騒な労働者の街といった 住から見てはずれに位置していた山谷地区 ちん)宿が置かれていたそうである。 地であった。 代に遡ると山谷は旅籠 なくなってしまった。 六年の住居表示の変更により山谷の地 である は江戸時代から安い木賃宿が置かれる棒鼻 徐々に下がり、 光街道と奥州街道の宿場町として栄えてい の江戸の端で、 いても名前はいまの地図 イメージとは異なり、 (ぼうばな、 現在の山谷は、 宿場町にはその中心に高い旅籠が置か ただし江戸時代の山谷地区は今我々が 中心から遠ざかると宿屋のランクが 山谷は江戸時代の都市として 宿駅のはずれ) 端まで行くと安い木賃 山谷の先にある北千住は日 昭和の その山谷は、 安い宿がおかれ (はたご、 には 歌舞伎小屋や江戸 語り草には に位置し ない。 旅館 江 一九六 なって 北千 てい こ の 戸時 名は 7

が 今回 江戸時代の山谷地区を語るうえで欠か . (T) 吐 師さんから様 はな話 [を聞 いた

> ず、 きい。 事を行うことができた。 にあり、 たのだが、 ざえもん)という呼び名で呼ばれる人がい 権限が与えられていたために処刑をする仕 の死に関することを取り扱える専売特許の 戸時代の穢多の身分の人々には人間や動物 た身分である穢多 った。実際に穢多の棟梁は弾左衛門 があり、意外とお金を持っている人々であ 位置しているので江戸時代は税金がとられ メージだったが、穢多の人々は市民の外に いた穢多のイメージは貧しい人々というイ のは穢多の身分の人たちだけであった。江 る小塚原の刑場、 ん)が重要な位置を占めていたことが分か せないのは士農工商制度の外に置かれて 専売特許の権利も持っているので収入 南千住駅から少し降りたところにあ 特に穢多の 非常に大きい屋敷を構えていたそ 弾左衛門の屋敷は浅草新町の角 ここで処刑を担当できた 人々の果たした役割は大 (えた)、非人(ひに 私が事前に持って

は全くない。 建物が立ってお 立浅草高等学校の 屋敷跡には白い都 屋敷跡 Ó 面

うである。



は江 る ものもおり、 専業としてきた革 多の人々の経済状況は悪化の一途を辿 令が発令され、 売特許を持ち、 に高い地 活動し町民に昇格 歌舞伎役者がいたそうである。 属するも るメーカーを設立した方もいたそうであ 市民として課税対象になってきたため、 人々だったが、 江 しかしそういった中でも江戸時代から .戸時代早期に三代目市川團 戸時代には穢多、 位まで上り詰めた。 のとして、 現在の革靴で有名になってい 穢多に位置する人々も一 明治時代になると身分解放 金銭的に裕福だった穢多の į 細工を発展させ起業する 猿飼などの大道芸人や その後現在の文化的 非人以外にも賤民に 江戸時代は専 上郎 歌舞伎役者 たちが っ 穢 般

で穢多頭弾左衛門の支配下におかれてい 代のテキ が浅草地 が付くかもしれない。 ラ(車寅次郎)と名前が似ていることに気 聞くと、 支配下に入っていた。 (くるまぜんしち) という名目の棟梁がお また非 非人頭も穢多の棟梁である弾左衛門 「男はつらいよ」のフー 屋は乞胸 区の歴史にかけてテキ屋 人の方は、 (ごうむね) という身分 非人頭として車善七 車善七という名前を 監督の山田洋二監督 テンのト (江戸時 0

る。
た)の車寅次郎の名前を掛けたようであ

非人の人々の生業は乞食と古紙を元に紙渡き(リサイクル)をすることだった。吉原の周りには非人溜があり、そこに多くの原の周りには非人溜があり、そこに多くのには元受刑者、身分をはく奪されたもの、の中でお互いの世話をするなどして支えあって暮らしていたと聞いた。

んは語っていた。
くのものを引き受けてきた場所だと吐師さではない地域でオープンな場所であり、多

という点で一貫性があると感じた。気を帯び、高度経済成長を支えてきた場所であり、昭和に入ると労働者の街として活暮らし、多種多様な文化を形成してきた街

おっしゃっていたことが心に残っている。に気づかされた。吐師さんが説明の途中で思っていたことの多くが間違いだったこと代の状況を知らなかったことや思い込みでことができた。その中で私があまり江戸時ことができた。

た。 地域の とを伝えないやり方がある。 山 れてしまう。 は必ず偏見が生まれてしまう。 ふたをしてそのあとの世代に過去あったこ あるということを言っていた。 東京オリンピック前後で部落を含む様々 東京オリンピックの 識を持つことで初めてお互いに理解 を正しく知らない限り、 谷地区の名前が消えたのは一九六四 吐師さんは「臭いものには蓋論争」が 名称が変えられたということだっ 歴史を正しく教え、 後 のことだが、 無用な差別が生ま そのやり方で 過去の 臭いものに 正しい知 前 しあえ 歴史 年の 回 な \mathcal{O}



合よく受け取って解釈してしまいがちであいる。そのため手に入れた情報を自分に都つ知識も限られているし、偏見にも満ちて人間は自分勝手な存在であり、自ら持

とが大事だとつくづく感じさせられ じて様々な観点から事実を見つめてみるこ 込みという色眼鏡を外して、心を静めて主 があると思う。真実を知るためには、 私たちはできるだけ真実を正しく知る必要 沢山ある。クリスチャンとして生きている に長く住みながらまだまだ知らないことが ないということと、 自分が知っていることが必ずしも真実では に祈り、祈りを通して与えられる思いを通 った玉石混合であることを痛感した。 つかる情報も真実と誤解や偏見が入り混じ 今回 の取材旅行で私が感じたことは インターネット上で見 、思い 日本

吐師さんに心から感謝したい。 この取材旅行を企画してくれた金井兄、そ 歩くと、自分が江戸時代にタイムスリップ 戸時代の話を聞いてその場所を自分の足で ことが多くアッという間の時間だった。 でまた山谷を再訪してカツカレ して忙しい中丁寧に説明をしてくださった した気持ちになり感慨深い一日となった。 ったが、 山 ダイカマ」が気になって仕方がない 一谷取材旅行は暑い中三時間歩き通しだ 初めて知ること、考えさせられる の途中で見かけたカレーの店 個人的には 山下智 ・を食しに バーニ 江

■広報伝道部取 材 旅行

$\overline{}$ 山 容 \mathcal{O} 声

くつかのキーワードを基にお話しさせて さん書いてくださっているので、私はい 6月号に、山下兄が今月号に詳細をたく どんなところを歩き見学したのかは、 東京は台東区にある山 行した西山兄、桜井兄が Windy News の いただくことにする。 5月25日に広報伝道部 谷地区を訪 0 取 材旅行で ね た。 同

吐師さんと私】

をしたことを思い出す。そして彼の住ん 学年関係なく学部生で協力しながら準備 設 師さんは私の学生時代の先輩である。 をしていたり、 本人がいなくても誰かしらがマージャン でいたアパート 初めて開催する際は吐師リーダーの下、 人が集まってくるところであった。 卒業後は頻繁に会うわけではなか の学校で私は2期生で入り、学校祭を 今 回 一山谷地区を案内してくださった吐 ギター は常に鍵が開いていて、 -を弾い てい たりと に相 っった 新

> 谷地区 だった。こう書きつつ、「あっ、この私も 会いつつ感じたのが、ここでも吐師さん った。 た。 その一人だった」といまさら気がつい の周りには人が集まってくるということ 一の現状を 緒に患者さんを訪 を聞き、 同じ事業者の方に 問 しながら山

【友愛会】

心あたたまるイベントの一つである。 おせちを安価で提供しているところも、 をあたたかいうちにと準備されている方 も3食出され、手作りのあたたかいもの きられるようサポートをしている。 必要とする方もいるが、その人らしく生 宿泊所を運営している。なかには医療を に、住む場所や居場所がない の姿が印象に残る。また年末には手作り 友愛会はNPOで訪問看護や介護の 人のための 食事 他

1 0 円 の 違

は生活保護を受けながら住んでいる方が ともいわれ [雇労働] ほどの簡 Щ 谷地区には「ドヤ 者 \mathcal{O} 易宿泊所が多数ある。 ている)」と呼ばれる1部屋3 方が多く住んでいたが、 (宿 の逆さことば 以前は

来たらいいよ」と職場見学をさせてもら

「一度(友愛会の訪問看護を)

今年の冬、

私が仕事で悩んだ時

の違いが大きな違いを物語っている。くさん並んでいるが、実はこの100円多い。2200円と2300円の宿がた

驚きを感じた。監をを感じた。ないと住み続けることができない。ゆえに2300円のドヤは「生活保い。ゆえに2300円のドヤは「生活保い。ゆえに2300円のドヤは「生活保護受給者は一月あたりの住宅扶生活保護受給者は一月あたりの住宅扶生

【山谷地区の変遷】

長期には日雇労働者が多くいた。ばれた方々が住んでいたり、高度経済成にぎわったそうである。えたや非人と呼れた方々が住んでいたり、旅人や行商で有名な料亭や遊郭もあり、旅人や行商で

そうだ。 差別を受けやすい方々が増えてきている高齢者や、障がい者や刑期明けの人などるして今は、生活保護を受給している

コンビニでアルバイトを始めて、以前のたと分かったらどう思う?そういう人がに引っ越してきた人が窃盗の前科があっ吐師さんから問われたのが、「もし隣り

とのこと。

与えられる、

人と人との

一かな関わり」を大切に

ながらやっているお店

り着く方も増えているそうである。れてしまい、行き場がなくなり山谷に辿う?」と。社会復帰をしたくても差別さことがばれてしまったら雇い主はどう思

をあなた自身のように愛しなさい。(レビ人々を恨んではならない。あなたの隣人とれるだろうか。

ちょっと余談を。山谷にあるんです。【セブンイレブン・世界本店!?】

記 19:18)

世界本店が!

正式名称は台東日本堤2丁目店なのですが、以前は「世界本店」という酒屋さんがあり、その名残で今でも両方の店名が記されています。インスタ映え…はしがにろうけれど、笑えました。あとゴッホじゃなくて「バッハ」という超有名なコーヒー専門

1

るのか?」と。

よいかもしれません!ださい。いや、それを目当てに行くのも一山谷に行かれた際はぜひ足をお運びく

【同じ人として】

に頭が下がる想いであった。
に支えてくださっている方々がいることず、このような場所があり、そして地道で同じ日本かつ都心に近いにも関わらが、毎回新たな発見をさせられる。そしが、毎回新たな発見をさせられる。そし

る」吐師さんから出た言葉であり、友愛「目の前で困っている人をただ助け

困っている人に、いつも手を差し伸べてもう一度自分にも問いたい。「目の前で会の活動の基本でもあろう。

一日でした。 吐師さんや共に歩いた兄弟姉妹に感謝

(金井 和夫)

7月の予定

(日) 祈祷部勉強会&プレイヤーウォーキング

(日) 合同礼拝 11:50~ 14日

> 信徒訓練会 00~ 14:

> > じゃ

い?あれ?白虎隊って?誰

 \mathcal{O}

のままでは、

1

け

ないと思って調

が

近藤勇とか沖田とか。

ん?これ新

(日) ゴスペル施設訪問

(日) 上半期役員部長会 28日

8月

(木)~3日(土)教会キャンプ



ただい

て「ヘーそうなんですね!

いい

な

「白虎隊

のところ良か

ったよ」と教えてい

たところ

だっけ???」

だったことは内緒であ

あれ

か、

年末にドラマでやるやつ??

それ

確か

『忠臣蔵』だ。

あ

0

あ」と返した私、

内心は

「白虎隊ってなん

ちょ 全然わかる 曜 送されていたらしい。 け もなぜかみ 「風 白 江 \neg った二〇一九年、 時 田原坂』 歌 わ ウ V 戸 にまには いと前 時代 代劇 合戦 歴史に強 林火山』 カュ 1 気がする。 つたの キペディアは難 いらなか もずっと続 0 \mathcal{O} 『五稜郭』『勝海 お笑 裏で年末時: の んなこのへんの 頃の んは、 はこのシリー 話だからか 話らし 11 人も多い 特に年配 0 た 以外も観 私が小さい いて (笑)。 『忠臣蔵』『白虎隊 代劇スペ しすぎたが いことだけ把握。 な? 0) 11 \mathcal{O} ブ。 舟 る 方 かなと感じた。 歴史にやたら てみようかなと うっすらと ・頃は毎年、 々。 (←失礼 シャルが N 源義経』 こういう H K 生ま の土 0 れ 放 で 紅 る

.井田先生に旅行の感想を聞い

ウインディチャペル 溝のロキリスト教会 **T213-0033** 神奈川県川崎市高津区下作延 7-11-12 TEL·FAX 044-811-3235 E-mail mcc@windychapel.com ホームページ http://windychapel.com

仁井田牧師夫妻

2019 福島の旅

先生ご夫妻が行かれた福島の美しい風景。 写真を お預かりしましたので、お楽しみください。



短い休暇でしたが、ゆっくりと静養されましたでしょうか。いつまでもお元気にお過ごしください。(教会一同)





